

# DX お悩み相談室

第8回 「ITリテラシーどう高める？」のお悩み

## ITリテラシーとは「慣れ」。右脳アプローチで攻略しよう



**Hさん（IT担当者）**…社長のITリテラシーを高める良い方法はありませんか？当社は小規模の小売企業ですが、人手不足で残業も多いため、デジタル化で業務の効率化を進めたいと考えています。しかし、社長に相談しても、「ITとかデジタルの話はわからない」と言われて話が進みません。このままでは当社は世の中から取り残されてしまうのではと不安で、なんとか社長にITリテラシーを高めてもらいたいのですが、どうしたらいいでしょうか。

慣れて終わってしまいました。もう少し世の中の動きに敏感になってほしいのですが。

回答者



**柴山 治**  
(しばやま・おさむ)  
デジタル戦略プランナー/  
株式会社YOHACK CEO

米国ワシントン大学 経営学修士課程 (Global Executive MBA) 修了。ITベンチャー、コンサルティングファーム、外資系生命保険会社等を経て、現在は株式会社YOHACK代表。企業の成長フェーズや課題に応じた、テラーメイドの支援を提供している。著書に『日本型デジタル戦略』等がある。

※DXに関するお悩みは、どんなことでもお気軽にご相談ください。



のA社は既に1年前に生成AIを導入して、「こんな効果があったらいいですよ」と言う、「え、そうなの？」と必ず反応があると思います。また、提案の仕方では、「右脳に訴える」を意識すると効果的です。

**Hさん**…右脳？

**柴山**…Hさんが社長にデジタル化の提案をしたときは、どんな方法でやりましたか？

**Hさん**…業務に役立ちそうなシステムの説明を資料にまとめて提案しました。専門用語には解説も付けてなるべくわかりやすくしたつもりだったのですが……。

**柴山**…なるほど。論理的に攻める左脳のアプローチですね。相手がシステムに明るい人ならそれが有効だと思いますが、御社の社長のようなシステムに明るくない人の場合は、Hさんがどんなにわかりやすく理路整然と説明しても、「まあ説明はわかったが、それで？」ということになりそうです。

**Hさん**…そうなんです。まさに、「説明はもういい。それで売上がどれくらい上がるんだ」と言われて終わってしまいました。

**柴山**…そこで私がおすすめたのが、五感に訴えかけて納得感を生む右脳のアプローチです。論理的な説明よりも、とにかく「見る」「触る」などの体験を優先させるのです。例えば、実際にスマホにアプリを入れて、「このアプリを使うと、ど

**柴山**…Hさんの不安と焦りはもっともだと思います。ペテラン経営者には今まで積み重ねてきた経験と実績があるため、無理に新しいことをやる必要はない、デジタル化なんてお金ばかりかかって無意味、という考えの人もまだいらっしゃいます。しかし、この変化の激しいデジタル時代に自社だけデジタル化しないというのは、非常に難しいことです。デジタル化の流れを無視した経営では、単に売上や業務効率が上がらないというだけでなく、5年後には生き残りが危ぶまれるといった事業継続のリスクが高くなってしまいます。

**Hさん**…やはりそうですよ。今世間で話題の生成AIも導入してみたいと考えているのですが、「そんなものに金をかける余裕はない」と言

ここでもリアルタイムの売上やカテゴリごとの集計を確認することができません」とデモを見せたり、実際に操作してもらうことで、「なんかこれ便利だな」と直感的に理解してもらえます。

**Hさん**…百聞は一見に如かず、ということですね。

**柴山**…はい。今はSaaS<sup>\*</sup>の製品はサブスクで利用できるものがほとんどで、少人数で短期ならそれほど大きなコストはかからず、製品によっては一定期間無料で試すことができます。まずは無料期間、試験的に導入してとにかく触ってみる、ということから始めるのがおすすめます。ITリテラシーとは一般的には「IT(情報技術)を理解し、適切に活用できる能力」という意味ですが、端的に言うと「ITへの慣れ」と私は考えています。慣れるためには、とにかく触ってみる、使ってみることが重要なのです。

**Hさん**…確かに、「わかってくれない、ITリテラシーが低い」と悲観していましたが、社長にITの仕組みや詳しい内容を理解してもらう必要はないんですね。社内の課題にこんなふうに関わり、というように納得して導入を考えてもらえればいわけですから。

**柴山**…そのとおりです。それでも難しい場合は、社長が経営面で頼りにしている人が社内にいれば、まずはその人にアプローチして味方につけ、その人から社長に助言してもらうという手があ

ります。例えば、リユックに特に興味なかった人でも、信頼している人に「今話題のリユックを購入して活用してみただけど、すごく機能的で使いやすいんだよね」と言われたら、心が動きますよね。それと同じです。

**Hさん**…確かに。ITもリユックも同じですね。その手で行ってみます！

実際に見て触ってみることが、ITリテラシー向上への早道です



\*「Software as a Service」の略。インターネットを通じて提供されるソフトウェアのこと